

ビデオ「児童福祉 50 年」

1. 児童福祉法誕生まで

- ・第二次世界大戦が終了し、町には家族を亡くした（ ）があふれていた。
- ・アメリカのエドワード・ジョセフ・フラナガン神父が来日し、（ ）設立を助けた。
- ・（ ）年、児童福祉法が成立した。
- ・子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、5月5日から一週間は（ ）週間とした。

2. 子どもたちに愛の手を

- ・（ ）年5月5日、（ ）が制定された。
- ・親を亡くした子どもを自分の子どもとして養育する（ ）が始まった。

3. 経済成長とともに

- ・高度経済成長期には（ ）が増えた。
- ・重症心身障害児施設（ ）では、さまざまな専門的な取り組みが実施された。
- ・共働きの親が増え、（ ）と呼ばれる子どもが激増した。
- ・また、子どもを預けて働かなくてはいけない親のための（ ）も増えたが、（ ）における事故や事件が社会問題となった。

4. 新たな時代

- ・合計特殊出生率が1.57となった平成（ ）年は（ ）と呼ばれる。
- ・1994（平成6）年（ ）に日本が批准した。
これは、子どもの権利（守られる権利だけでなく市民的な権利など）を保障するものである。
- ・1994（平成6）年（ ）が成立した。
これは、共働き家庭の子育て支援や少子化対策としての国の基本方針である。
- ・（ ）年の児童福祉法改正では、利用者が（ ）を選ぶことができるようになった（これまでは市町村が決定していた）。